

JAEA- Evaluation 2009-003

高速増殖炉サイクル実用化研究開発 (FaCT プロジェクト)

-フェーズ I 中間取りまとめ-

List of errata

正誤表

| ページ | 誤 | 正 |
|-----------------|--|--|
| 114 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく経済産業省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度「発電用新型炉等技術開発」の成果です。』</p> |
| 183 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、日本原子力発電株式会社が実施した平成 19 年度「燃料集合体解体及び燃料ピンせん断技術の開発」の成果を含みます。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-3 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく経済産業省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度及び平成 20 年度「発電用新型炉等技術開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-6 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく経済産業省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度「発電用新型炉等技術開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-9 | 5. 2 超音波流量計の開発 [14] [15] | 5. 2 超音波流量計の開発 |

| ページ | 誤 | 正 |
|------------------|--|--|
| 「CD-ROM」 A-11 | <p>[14] 三菱FBR システムズ (株) 「平成19 年度文部科学省原子力システム研究開発事業『高クロム鋼を用いた1 次冷却系配管に適用する流量計測システムの開発』成果報告書」</p> <p>[15] 三菱FBR システムズ (株) 「高クロム鋼を用いた1 次冷却系配管に適用する流量計測システムの開発」平成20 年度文部科学省原子力システム研究開発事業成果報告会，東京（2009年1月28日）</p> | 削除 |
| 「CD-ROM」 A-11 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。</p> <p>『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、三菱 FBR システムズ株式会社が実施した平成19年度及び平成20年度「高クロム鋼を用いた1 次冷却系配管に適用する流量計測システムの開発」の成果を含みます。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-30 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。</p> <p>『本報告の内容は、旧電源開発促進対策特別会計法に基づく文部科学省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成18年度「原子炉容器の高温構造設計評価技術及び破損燃料位置検出器の開発」の成果です。』</p> |

| ページ | 誤 | 正 |
|------------------|--|---|
| 「CD-ROM」 A-33 | <p>本報告の内容は、<u>エネルギー対策特別会計法</u>に基づく文部科学省からの受託事業として、独立行政法人日本原子力研究開発機構が実施した平成 18 年度及び 19 年度「原子炉容器の高温構造設計評価技術及び破損燃料位置検出器の開発」の<u>成果である</u>。</p> | <p>本報告の内容は、<u>特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）</u>に基づく文部科学省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度「原子炉容器の高温構造設計評価技術及び破損燃料位置検出器の開発」の<u>成果です</u>。</p> |
| 「CD-ROM」 A-45 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、旧電源開発促進対策特別会計法及び特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、日本原子力発電株式会社が実施した平成 18 年度及び平成 19 年度「燃料取扱い系システムの開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-47 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく経済産業省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度「発電用新型炉等技術開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-52 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、日本原子力発電株式会社が実施した平成 19 年度「燃料取扱い系システムの開発」の成果を含みます。』</p> |

| ページ | 誤 | 正 |
|------------------|---|---|
| 「CD-ROM」 A-70 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく経済産業省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度「発電用新型炉等技術開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-78 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、旧電源開発促進対策特別会計法及び特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、三菱 FBR システムズ株式会社が実施した平成 18 年度及び平成 19 年度「過渡時の自然循環による除熱特性解析評価手法の開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 A-90 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく経済産業省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 19 年度「発電用新型炉等技術開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 B-6 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。 『本報告の内容は、特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、日本原子力発電株式会社が実施した平成 19 年度「燃料集合体解体及び燃料ピンせん断技術の開発」の成果です。』</p> |

| ページ | 誤 | 正 |
|------------------|---|---|
| 「CD-ROM」 B-24 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。</p> <p>『本報告の内容は、旧電源開発促進対策特別会計法及び特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 18 年度及び平成 19 年度「抽出クロマトグラフィ法による MA 回収技術の開発」の成果です。』</p> |
| 「CD-ROM」 C-21 | | <p>下記の文章を最終行に追記する。</p> <p>『本報告の内容は、旧電源開発促進対策特別会計法及び特別会計に関する法律（エネルギー対策特別会計）に基づく文部科学省からの受託事業として、独立行政法人 日本原子力研究開発機構が実施した平成 18 年度及び平成 19 年度「セル内遠隔設備の開発」の成果です。』</p> |